

## Q1 スマートハブってなに？

**A** 沖縄をアジアにおけるIT産業の拠点にしようという動きが、

今から20年前の98年に、県は「沖縄県マルチメディアアィランド構想」を策定しました。これは、沖縄を日本及びアジアにおける情報通信産業・IT産業の中心にしようという試みです。その後、13年には「沖縄21世紀ビジョン」の一環として「お

きなわSmart Hub構想」を策定。IT産業の振興とハブ化に向けた施策の展開を掲げ、様々なアクションを実施してきました。

その結果、コールセンターに関しては、日本有数の集積地となり、雇用基盤にも貢献しました。他にも、ソフトウェア開発コンテンツ制作などの様々な業種の集積が図られるとともに、データセンターなどITインフラの整備が進みました。

コンテンツ制作



のふり



コールセンター



沖縄  
OKINAWA  
Smart Hub

データセンター



IT企業



アジア



IT産業を沖縄に集約することで、新たなサービスの創出・経済的自立を目指している

## Q2

なぜ沖縄がスマートハブなの？

**A** 日本のどこよりもアジアに近い立地が、最大の強みだよ。

いちばんの理由は、その立地条件。沖縄は「アジアに最も近い日本」。空路で4時間圏内には、国内はもちろん、中国や台湾の他、タイやベトナムなどのASEAN諸国も含まれる。人口でいえば、約200万人という巨大なマーケットにアクセスしやすい環境なのです。逆に、本土から数百キロ離れていることもあって、世界有数の地震大国である我が国では災害リスクを分散できるという利点もあります。

加えて、観光や物流が非常に活性化しているのも重要。船舶空路が拡張し、大型クルーズ船が多数寄港しているのは、存続のとおりに、人や物の流れが活発になればなるほど、IT産業も発展していくのです。

### 沖縄はアジア展開に最適なビジネス環境

地震など  
災害リスクを分散



特区規制

税額控除



物流も人の流れも活性化



アジアに近い地理的特性



沖縄から  
空路で4時間圏内



# Q3



具体的に進んでいるプロジェクトはあるの？

**A**  
ISCOCOや海底光ケーブルなど様々なプロジェクトが進行中だよ。



数多くのプロジェクトが進行中ですが、なかでも大きな話題となっているのが、今年7月に事業を開始した一般財団法人沖縄IoTイノベーション戦略センター（通称「いーと」イニス）です。イスコは、いーと沖縄の産業を結びつけ、新しいビジネスやサービスを創出する場を提供する組織です。身近なモノをインターネットにつないで新たなサービスを行うIoTを活用した実証事業や、IoTを通じて業界や企業の垣根を越えることで課題を解決しようというフューチャーセッションなどを実施しています。

その他の事業としては、沖縄国際情報通信ネットワークがあります。これは、首長圏から沖縄、そしてアジアを直接接続する海底光ケーブルで、大容量のデータ配信を可能にするというものです。アジアと日本をつなぐ新たなビジネスを創出します。



### 沖縄国際情報通信ネットワーク（海底光ケーブル）

首都圏ー沖縄ー香港ーシンガポールを接続する海底光ケーブルを整備。高速・大容量・低遅延のネットワークを構築し、アジアとの双方向性ビジネスを創出する環境を提供。また、本土との通信利便も利点で災害などに備えた備内網のバックアップ拠点と稼働する。



### 沖縄IT津梁パーク

国内外の情報通信関連産業の一大拠点の形成を目指すビッグプロジェクト。IT産業だけでなく沖縄全体の発展にも繋がっている。09年度より供用を開始し、今後も新たな施設を建設予定。

### 沖縄IoTイノベーション戦略センター(ISCOCO)



#### IoT 利活用促進ネットワーク基盤構築・実証事業

11月に行われた向巴志（ムコバシ）マラソンでは、最速圏にGPSセンサーを取り付け、運営本部の指示による迅速な救護対応や、暑さ指数を一括で把握する仕組みの実証を行った。



#### 沖縄型オープンイノベーション創出促進事業

国内外のIT企業を中心に、それ以外の企業や団体とマッチングすることにより、新たなイノベーションを起こす試み。9月には農業とITをつなぐフューチャーセッションを行った。



# Q4 今後はどうなっていくの？

**A**  
施設の開業や国際見本市の実施など、まだまだ計画があるよ。



今後は、沖縄IT津梁パークに、アジアーTビジネスセンター（仮称）の開設を予定しています。目的は、県内ーT企業のアジア展開や、アジアのーT企業との連携・協業による国内外向けビジネス展開を支援するため、企業や人材などの集積環境を整備するというもの。これによって、県内ーT産業の高度化、多様化を図ります。

また、2020年開催に向けて、国際ーT見本市も計画されています。県内で国際的な見本市や商談会などを行うことで、活性化はもとよりーT産業における沖縄の知名度やブランド力の向上も目指します。



アジアITビジネスセンター（仮称）（6-5階）



国際IT見本市

誰もが「沖縄はーTの中心」と認識する日は近いぞ！



# 赤土 de ふえすていばる 開催!!

沖縄県は美しいサンゴ礁の海に囲まれており、わたしたちはサンゴがもたらす自然の恵みに支えられながら生活しています。しかし、その美しいサンゴ礁の海も、まとまった強い雨が降り、赤土や灰色のジャーガル等の土壌が流出してしまうと濁ってしまいます。赤土等はサトウキビやパインアップルなどの作物を育てたり、赤瓦の屋根やシーサーなどの焼物に使われたりと身近なものです。しかし、開発事業や農地などにおいて、流出防止対策がされていなかったり不十分だと、降雨時に流れ出した赤土等が、濁水となって川や海に流れ込み、河川・海域の生態系や観光、水産業にも影響を及ぼします。

赤土等の流出を防ぐには、開発を行う人や農業をする人だけではなく、その周りの人々が一体となって、赤土等の流出を防ぐことを学び、一緒に助け合いながら対策をとれるようにすることが大切です。

そこで、沖縄県では、赤土等流出問題を広く一般に知ってもらうために、住民参加型イベント「赤土 de ふえ



赤土が海に流出している様子

すていばる」を開催しています。イベントでは、実際に赤土等に触れ、土壌の特徴や色の違いなどを体感することができます！身近な赤土等に触れることができるこのイベントに参加してみませんか。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

主な  
イベント

草を使ったおもちゃ作り、どろだんご作り、科学実験ショー、パネル展示、カルタ遊びや釣り堀式クイズなど、遊びをとおして楽しく学べるブースがたくさんあります！



イベント1  
赤土  
キャラクター  
「もっちゃん」  
お披露目!

赤土のマスコットキャラクター「もっちゃん」が誕生しました！「もっちゃん」は、濁の土が流れて行くことを悲しんだ土の魂がツツトリモチの姿になって表れました。今後様々なイベントに参加し、赤土流出を防止するために活躍する予定です。もっちゃんと一緒に写真撮影はいかがですか？



イベント2

赤土等流出実験！  
模型を使って陸から海へ、赤土が流れていく様子を観察しよう！



イベント3  
キャンドル作り、土のめりえ作り  
赤土を使ってキャンドルや土のめりえを作ろう！

開催日時 2018年12月15日(土) 13:00~17:00 場所 名護21世紀の森体育館

運営事務局 (株)沖縄環境保全研究所 (098-934-7020) 参加費 無料

問い合わせ

環境保全課

電話：098-866-2236

FAX：098-866-2240



県民総ぐるみで 飲酒運転根絶！  
飲酒運転は命を奪う犯罪



農作物の干ばつ被害軽減と収量・品質向上へ向けた農業農村整備事業の取組  
～県営かんがい排水事業の実績と効果～

### 1 沖縄県の現状

沖縄県は年・季節・地域的に降水分布の変化が大きいこと、河川の流域面積が小さいこと、地中の保水性が乏しいことなど気象・地形・地質的に水資源に恵まれず、恒常的な干ばつ被害に悩まされています。このような状況から、農業用水源や畑地かんがい施設の整備が急がれています。



干ばつ被害を受けたサトウキビ

### 2 県営かんがい排水事業

干ばつ被害の軽減に向け、県では県営かんがい排水事業に取り組んでいます。本事業により、地域特性に応じた農業用水源(貯水池・ため池)や畑地かんがい施設(スプリンクラー・給水栓・給水所)の整備を進めています。



貯水池



給水栓



スプリンクラー

### 3 事業の実績と効果

沖縄県における平成28年度までの事業実績としては、農業用水源の整備率が62.1%、畑地かんがい施設の整備率が48.2%となっていて、整備が完了した農地においては、安定した農業用水が供給されることで、干ばつ被害が軽減され、農作物の収量増大や品質の向上、価格の上昇に寄与しています。



マンゴー

さらにはマンゴーなど高収益作物への転換も図られています。その結果、沖縄県の平成28年農業産出額は1,025億円となり、21年ぶりに1,000億円を突破するなど好調に推移しています。県としては、引き続き、沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる「亜熱帯性気候等を活かした農林水産業の振興」に向け、加速度的な事業推進に取り組んでいきます。

### 沖縄県の農業産出額の推移



問い合わせ

農地農村整備課 電話:098-866-2285 FAX:098-866-2879  
村づくり計画課 電話:098-866-2263 FAX:098-869-0557

広告



# 情報ひろば

## 2018年12月

日	月	火	水	木	金	土
12						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
1						
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

### イベント

#### ▼第16回農大祭

- 日時 12月2日(日)9時30分～15時30分
- 会場 県立農業大学校(名護市大北)
- 臨時駐車場 なごアグリパーク
- 臨時駐車場から会場までシャトルバス運行
- 内容 和牛精肉販売、農産物等販売、収穫体験、フラワーアレンジ教室ほか各種イベント盛り沢山
- 問合せ 県立農業大学校  
☎09860570050



#### ▼創立70周年記念花まつり

- 日時 12月8日(土)～9日(日)10時～15時
- 会場 県立南部農林高等学校
- 内容 県立生産物の販売実習を通して生徒の日頃の学習成果をお披露目します。野菜や精肉、酸乳飲料、パンやケーキなどの加工品、草花などの生産物販売を行います。
- 備考 詳しくは南部農林高等学校のホームページをご覧ください。
- 問合せ 県立南部農林高等学校  
☎09688506006

#### ▼第19回特別企画展の開催

- 平成30年度特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」を開催します。
- 会期 12月9日(日)9時～17時(入館は16時30分まで)
- 会場 県平和祈念資料館

- 備考 入場無料
- 問合せ 県平和祈念資料館  
☎09899713844

#### ▼沖縄県新規就農相談会

- 農業への就農を希望される方へ、必要な情報提供やアドバイス等を行います。
- 日時 12月16日(日)12時～15時30分
- 場所 豊見城市立中央公民館(豊見城市・平良467番地1)
- 備考 入場無料、予約不要
- 問合せ 公益社 沖縄農業振興公社  
☎0988826801

#### ▼適職発見フェア(正社員特化型)開催

- 日時 平成31年1月11日(金)13時15分～17時(受付12時45分)
- 会場 沖縄コンベンションセンター
- 内容 合同就職説明・面接会
- 正社員(県内全産)のお仕事
- 対象者 すべての求職者(一般求職者及び求春予定の学生)
- 問合せ 適職発見プロジェクト事務局  
☎0988608900

#### ▼美術館コレクション展

- 期間 平成31年1月6日(日)～9日(金)・土は20時まで
- 会場 県立博物館・美術館
- コレクションギャラリー
- 料金 一般310円、高大生110円、小中生100円、県内小中学生無料

- 問合せ 県立博物館・美術館  
☎0989418200(代表)

#### ▼縄文と沖縄展

- 博物館特別展「縄文と沖縄—火焔型土器のシンボリズムとヒライイの道—」を開催します。
- 会期 平成31年1月20日(日)
- 時間 9時～18時(金・土は20時まで)
- 会場 県立博物館・美術館特別展示室
- 料金 一般1,100円、高大生600円、小中生300円
- 問合せ 県立博物館・美術館  
☎0989418200(代表)

#### ▼1丁津梁まつり2019

- 様々な1丁体験コーナーやステージを用意しています。多くの皆様のご来場をお待ちしております。
- 日時 平成31年1月18日(金)～19日(土)10時～17時
- 会場 浦添市民体育館(浦添市仲間1-13)
- 問合せ 1丁津梁まつり2019事務局(株式会社ワン・エージェンシー)内  
☎09886213939



## 募集

### ▼ひとり親・中高年就職支援

ひとり親世帯と40代50代の中高年齢者が対象の就職支援事業へ参加する求職者を募集します。

- 日時 事業説明会(要予約)毎週火・木曜日
- 会場 (株)琉球新聞開発 他
- 南部や中部で開催

●内容 個別相談、事前研修と職場訓練を行い就職雇用につなげます。子育て中でも安心して参加が可能です。

- 問合せ 株式会社琉球新聞開発  
☎098-866-15270



### ▼高校生の大学進学応援します

経済的に厳しいご家庭の高校生を対象に、大学や専門学校への受験対策を目的とした塾を県内11か所に開設しています。費用は無料です。対象者・場所・申し込み先は、お問い合わせください。

- 問合せ 県立てびく未来政策課  
☎098-866-2100



### ▼おきなわ県政出前講座

県が取り組む事業や県政の課題について出前講座を実施します。15分野111の講座をご用意しています！

●講座対象 おおむね20人以上の集會、但し以下を除く。

●党利、示教または政治活動を目的とするもの

●立構、陳情を目的とするもの

●費用・会場 派遣費用無料。会場は申請者の方でお願いください。

●申込方法 希望日の1ヶ月前までに申込書により広報課へ申し込み。

- 問合せ 県広報課  
☎098-866-2020

## お知らせ

### ▼調理師業務従事者届

平成30年度は調理師業務従事者届の届出年です。

飲食店や給食施設などで働いている調理師は、法律で2年ごとに調理師業務従事者届の届出が義務づけられています。

平成30年12月31日現在の状況を受付期間内に就業場所を管轄する保健所へ提出していただく。

●受付期間 平成31年1月4日(金)～15日(火)

●受付場所 勤務地を管轄する保健所

- 問合せ 県衛生業務課  
☎098-866-2055



### ▼性暴力被害者を支援します

性暴力被害者ワンストップ支援センターでは、性暴力被害者への相談・支援を行っています。

●日時 月・土(要予約)・年末年始を除く9時～17時

●電話 #7001(繋がらない場合は☎098-888-2060)

### ▼特区・地域制度の相談窓口

沖縄県には、設備投資を行った事業者等が税制優遇を受けられる「特区・地域制度」があります。制度については下記までお気軽にご相談ください。

- お問い合わせ ワンストップ相談窓口  
☎098-894-6074

### ▼土地取引届出制度について

一定規模以上の土地取引をした場合、契約を結んだ日を含めて2週間以内に、その土地の所在する市町村へ届出が必要となります。

●問合せ 県土地対策課  
☎098-866-2040



### ▼パスポート申請はお早めに

県内38市町村にパスポート窓口が開設されています。

申請は、那覇市、糸満市、豊見城市在住の方は旅券センター、その他38市町村在住の方は住民登録のある市町村窓口での手続きとなります。早めの申請と、遅延しない午前中の来所をお勧めします。

●申請場所

【那覇市、糸満市、豊見城市】旅券センター

【その他38市町村】各市町村窓口

- 問合せ 県旅券センター  
☎098-866-2775



## 夜間中学 ニーズ調査



夜間中学に関する県民のみならずのニーズ調査を実施しています。調査へのご理解とご協力をお願いします。

### 調査方法

- ① 調査票の郵送
- ② Webでの回答



問合せ：県教育庁義務教育課

☎098-866-2741



県民総ぐるみで 飲酒運転根絶!



# 沖縄県の歴史を学んでみませんか♪

～『沖縄県史』『歴代宝案』最新刊のご紹介～

沖縄県教育委員会では「新沖縄県史編集基本計画」「歴代宝案編集基本計画」に基づき、沖縄県の歴史・自然・文化に関する本を作っています。沖縄県の素晴らしい歴史を学んでみませんか。

## 1 『沖縄県史』最新刊の紹介

### ● 沖縄県史 各論編6 沖縄戦

平成29年3月発行、平成30年6月巻末、85巻、824頁、オールカラー、価格5,000円

本書は最新の沖縄戦研究を網羅し、さらに、今まであまり取り上げられてこなかった「障がい者」「ハンセン病者」「戦争トラウマ」「不発弾」にも光をあてた、沖縄戦研究に新たな視点を開く一冊です。



### ● 沖縄県史 研究叢書18 沖縄の民俗資料

平成30年3月発行、85巻、648頁、価格3,000円

本土復帰前に実施された「沖縄の民俗資料緊急調査」の成果のうち、報告書「沖縄の民俗資料第1集」(1970・1974)に掲載されず、今日まで「調査票」として保管されていた49地域の調査データを収録した1冊。現在では見られなくなった民俗行事を含め、復帰前の県民の暮らしがよみがえります。



### ● 沖縄県史 研究叢書19 植物標本より得られた近代沖縄の新聞Ⅱ

平成30年3月発行、84巻、268頁、価格2,500円

沖縄戦での壊滅的な被害で、近代沖縄の新聞は大半が焼失しました。しかし、幸いにも近代に沖縄県を訪れた植物学者が、標本を挟み持ち帰った新聞が県外の研究機関等に保管されていました。本書は、史料の少ない近代沖縄を知る貴重な1冊です。

## 2 『歴代宝案』最新刊の紹介

### ● 歴代宝案訳注本 第14冊

平成30年3月発行、85巻、575頁、単行本

『歴代宝案』(全15冊)は、琉球王国の外交を語る第一級史料です。今回刊行された第14冊は、欧米船の琉球来航やそれに伴う清朝(中国)との外交など、激動の1850年代の文書が収録されています。また約20年ぶりに歴代宝案の概要を紹介する『歴代宝案の果』(新訂版)が発行されました。こちらは沖縄県教育委員会HPで公開中です。



「沖縄県史」  
販売に関する  
問い合わせ

教育庁文化財課史料編集班(県公文書館内)

電話：098-888-3939 FAX：098-888-3944

※県教育委員会HPでも注文できます。

[http://www.pref.okinawa.jp/edu/bunkazai/kenshiryo\\_hanbai/index.html](http://www.pref.okinawa.jp/edu/bunkazai/kenshiryo_hanbai/index.html)



県民総ぐるみで 飲酒運転根絶!  
飲酒運転は0.01でも0.0001でもダメ!



# 英語でまち案内

海外から沖縄を訪れている外国人に  
あなたの住むまちの魅力を英語で紹介してみましょう。

今回来内するのは、  
**読谷村**  
Yomitan Village

歴史と伝統が息づく  
日本一人口の多い村

沖縄本島中部に位置する読谷村は、「日本で一番人口が多い村」ということで知られています。縄文時代の遺跡も多く、古来より人々が集まって暮らしてアリアラたようです。なかでも世界文化遺産に登録された座喜味城跡は、歴史ある読谷村の象徴のひとつ。琉球王国時代の王族である護佐丸が築城したといわれ、今も立派な城壁が残っています。また、自然も豊富で、とくに白い灯台が建ち、切り立った崖絶壁が約2kmも続く残波岬は絶景。村内随といわれる観光地であり、夕日スポットとしても人気です。

読谷村は伝統工芸も盛んで、「やちむん(焼き物)」は県外でもよく知られています。「やちむんの里」にはペテランから若手まで多数の陶工が集まり、昔ながらの「登り窯」という焼き窯を見ることもできます。

phrase 1 読谷村に住んでいる人は、約4万1千人。  
日本で最も人口が多い村です。

Approximately 41 thousand people live in Yomitan Village. It is the most populous village in Japan.

phrase 2 断崖絶壁が続く残波岬には、大きな灯台が建っています。

A lighthouse was built on Cape Zanza, which is lined with precipitous cliffs.



phrase 3 読谷は「やちむん」といわれる焼き物が盛んで、陶芸家の工房がたくさんあります。

"Yachimun," a type of pottery, is popular in Yomitan, and there are many pottery artist studios.



読谷村観光協会  
読谷村観光協会  
読谷村観光協会

読谷村観光協会  
読谷村観光協会  
読谷村観光協会

在任外国人おススメ!  
**おもしろスゴット**  
体験王国  
むら駄むら

海遊びからもの作り体験まで楽しめるスポット。特におすすみたいのが、冬の恒例となった琉球ランタンフェスティバル。50メートル級の巨大国王オブジェもあり、幻想的な灯りの中を散歩できます。





## アンケート

- Q1 今号をどこで手に入れましたか。または何でご覧になりましたか？  
 Q2 今号の「美ら島沖縄」で面白かったページは何ですか？  
 またその理由は？  
 Q3 今号の「美ら島沖縄」で役立つページは？  
 Q4 「美ら島沖縄」で取り上げてほしい内容は？  
 Q5 「美ら島沖縄」に関する率直なご意見、ご感想があれば  
 お聞かせください。

応募締切：2018年12月31日(月)必着

美ら島沖縄・うまんちゅひろばのアンケートにお答えいただいた方から  
 抽選で、毎月10名様に県産品をプレゼント!

## 今月のプレゼント



株式会社 菓菓子印刷

黒糖ショコラとろ〜 12個入  
 お一人様1個

沖縄県産の黒糖を100%使用。黒糖入りのクッキー生地にとろ〜り食感のチョコレートを含みました。チョコレートの中には粒状の黒糖を練り込み、風味豊かな香りと粒々の食感が楽しめます。  
 2018沖縄県産優良県産品「最優秀優良県産品賞」受賞。

商品に関する  
 問い合わせ

提供/株式会社 菓菓子印刷  
 菓菓子印刷 読谷本店 TEL.098-958-7333  
 受付時間/9:00~18:00 年中無休

応募方法

①上記アンケートへの回答 ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢  
 ⑥電話番号を必ずお書きのうえ、下記の宛先までご応募ください。

期 先

ハガキ:〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 広報課まで  
 F A X : 098-866-2467

電子メール: kouhou@pref.okinawa.lg.jp

10  
 名様

●【12月号プレゼント係】と明記ください。  
 抽選の上、プレゼントを差し上げます。

- プレゼントの発送をもって発表とさせていただきます。
- 個人情報情報はプレゼントの発送のみ情報として使用します。



アンケートに答えて県産品を当てよう!

## 広報課から 12月のお知らせ

県政広報テレビ番組

「うまんちゅひろば」  
 毎週土曜日・日曜日

- 琉球朝日放送 (QAB) 土 15:55 ~ 16:00
- 琉球放送 (RBC) 日 16:54 ~ 16:59

- 12月 1日・2日 / 新泉立八重山病院開院
- 12月 8日・9日 / 県立図書館移転について
- 12月15日・16日 / 子どもの貧困対策について
- 12月22日・23日 / 農地中間管理事業について

ラジオ  
 県民室

県政広報ラジオ番組  
 「ラジオ県民室」

毎週月曜日～金曜日

- ラジオ沖縄(86.4kHz) 11:50 ~ 11:55
- RBCラジオ(73.8kHz) 11:55 ~ 12:00
- FM 沖縄(87.3MHz) 12:55 ~ 13:00

自治体広報紙配信「マチイロ」

自治体広報紙配信スマートフォンアプリ「マチイロ」に「美ら島沖縄」を掲載しています。「マチイロ」サイト(外部サイトリンク)から専用アプリをダウンロードしてご覧ください。



県政  
 出前講座

県政出前講座実施中!

現在、111テーマの講座を提供中!県の特産品が講師として出向きます。詳しくはホームページをご覧ください。

ホームページバナー  
 広告募集!

バナー広告を募集申中です。詳しくはホームページをご覧ください。

広報課 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 E-mail: kouhou@pref.okinawa.lg.jp

## 読者の声

- 「空手の日」沖縄空手が好きなので取り上げてくれて嬉しいです。記事もわかりやすくて良かった。読み応えがありました。(読者市)
- 新泉立八重山病院の院史は着書医療の発展に大きな進歩が期待できる。(読者市)
- 「世界のウチナーンチュウの日」一度も海外に出たことがないので、世界中に42万人もの人が沖縄を離れて生活していること

- に驚きました。(石垣市)
- 「英語でまち案内」地元の人でも知らないポイントを知ることができる。ちょっとした知識でも、いざという時に使えそう。(読者市)
- 県民にとって今の沖縄を知る事のできる良い情報ツールだと思つので、手に入る場所が増えるを嬉しい。(宮古島市)
- 沖縄によく来ています。子どもや高齢者に

やさしいスポット、癒やしの場所があれば教えてほしい。(神奈川県)

- 習つぷしで読み始めたのがきっかけですが、最近では為になる情報が多く勉強になるので、毎月楽しみにしています。(北谷町)
- 移住してきたばかりなので知りたいうことばかりです。いい意味で広報誌らしくなく、読みごたえがあります。(読者市)



県民総ぐるみで 飲酒運転根絶!  
 飲酒運転厳罰化 9000 人増



広告

美与島沖綫

Vol.519  
2018 12月号

企画・編集・発行 沖縄県防衛協会広報課  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2  
TEL.098-986-2020

制作・印刷／株式会社エコーシステムズ株式会社  
〒901-1111 沖縄県那覇市東風町字兼成577  
TEL.098-889-1121

平成30年12月1日発行第42巻12号通巻519号  
Cコード41162008000001 印刷及び複製の権利を所有する。複製は防衛省から許可を得る必要があります。

購読に際しては郵政省の定める郵便法に従ってください。



R70  
R70